
令和4年度 市民による市政評価 調査結果について（概要版）

企画部総合政策課

1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や市民との協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施しています。

平成28年度からは、市政評価とあわせて個別の施策や事業に関する評価・意見を調査する「市民による個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきたところです。

2 調査の種別

（1）市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目（施策）について、「満足度」、「重要度」、「今後さらに推進すべき取り組み」を調査しました。また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政のデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行いました。

（2）個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、市民ニーズをふまえた施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の3テーマについて調査しました。

テーマ
1) 市所有温泉施設について
2) SDGsについて
3) 男女共同参画について

3 実施方法

(1) 手法

昨年度は、個別事業評価の一部でインターネットによる回答を試行しましたが、今年度はすべての調査においてインターネット回答を可能とし、調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式としました。

(2) 期間

令和4年4月28日（木）～6月3日（金）

4 調査対象

市内在住で18歳以上85歳未満の方の中から無作為に抽出した市民1,000人。

（性別、年齢、地域については考慮）

5 回収数・回収率

送付数	回収数			回収率
1,000人	518人			51.8%
内 訳	回答方法	回収数	割合	
	郵送	427人	82.4%	
	ネット	91人	17.6%	

6 市政評価 調査結果の概要

(1) 満足度及び重要度について

〈満足の度合い〉

- ⇒ 満足度の上位項目は、「保健・医療」「子育て」「自然・環境衛生」の順となっており、下位項目は「雇用・就労」「商工業」「空き家対策」の順となっている。
- ⇒ 昨年度と比較すると、全体的に満足度が上昇しており、0.10ポイント以上変化した項目は、3.60で2位の「子育て」（昨年度から0.14ポイント増）、3.42で9位の「社会福祉」（昨年度から0.12ポイント増）、3.71で1位の「保健・医療」（昨年度から0.10ポイント増）となっている。なお、0.10ポイント以上下降した項目は無く、最も低下したのは2.92で26位の「出会い・結婚」（昨年度から0.06ポイント減）となっている。

順位		項目	満足度 ※			
R4	R3			R4	R3	増減 (R4-R3)
1	1	【保健・医療】	↖	3.71	3.61	0.10
2	3	【子育て】	↖	3.60	3.46	0.14
3	2	【自然・環境衛生】	←	3.52	3.51	0.01
4	3	【上・下水道】	←	3.49	3.46	0.03
5	6	【スポーツ】	↖	3.47	3.42	0.05
6	3	【安全・安心体制】	←	3.46	3.46	0.00
7	7	【地域情報化】	↖	3.45	3.38	0.07
8	8	【花火産業構想】	↖	3.43	3.35	0.08
9	11	【社会福祉】	↖	3.42	3.30	0.12
10	10	【社会保障】	↖	3.41	3.32	0.09
11	9	【学校教育】	←	3.34	3.34	0.00
12	12	【生涯学習】	←	3.29	3.27	0.02
13	14	【道路・河川】	←	3.27	3.25	0.02
14	15	【地域間・国際交流】	←	3.26	3.24	0.02
15	18	【芸術・文化】	←	3.24	3.20	0.04
15	16	【住環境】	←	3.24	3.23	0.01
17	13	【公共交通】	←	3.23	3.26	▲0.03
18	21	【農林水産業】	←	3.19	3.16	0.03
19	17	【市民協働】	←	3.18	3.21	▲0.03
20	21	【男女共同参画】	←	3.17	3.16	0.01
20	20	【観光】	←	3.17	3.18	▲0.01
20	18	【地域活性化】	←	3.17	3.20	▲0.03
23	23	【移住・定住】	←	3.12	3.10	0.02
24	24	【行財政運営】	←	3.08	3.05	0.03
25	26	【市街地】	←	2.96	2.92	0.04
26	25	【出会い・結婚】	↙	2.92	2.98	▲0.06
27	29	【空き家対策】	↖	2.87	2.82	0.05
28	27	【商工業】	←	2.85	2.90	▲0.05
29	28	【雇用・就労】	←	2.84	2.84	0.00

※矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↙ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

〈重要の度合い〉

- ⇒ 重要度の上位項目は「保健・医療」「子育て」「雇用・就労」の順となっており、下位項目は「地域間・国際交流」「スポーツ」「芸術・文化」の順となっている。
- ⇒ 昨年度と比較すると、全体的に重要度が上昇しており、0.10ポイント以上変化した項目は、3.85で同順17位の「住環境」（昨年度0.13ポイント増）、3.82で19位の「移住・定住」（昨年度から0.13ポイント増）、3.86で16位の「出会い・結婚」（昨年度から0.12ポイント増）、4.31で4位の「社会福祉」（昨年度から0.11ポイント増）、4.19で7位の「農林水産業」（昨年度から0.11ポイント増）、3.60で25位の「市民協働」（昨年度から0.11ポイント増）、3.85で同順17位の「観光」（昨年度から0.10ポイント増）となっている。なお、低下した項目は無かった。

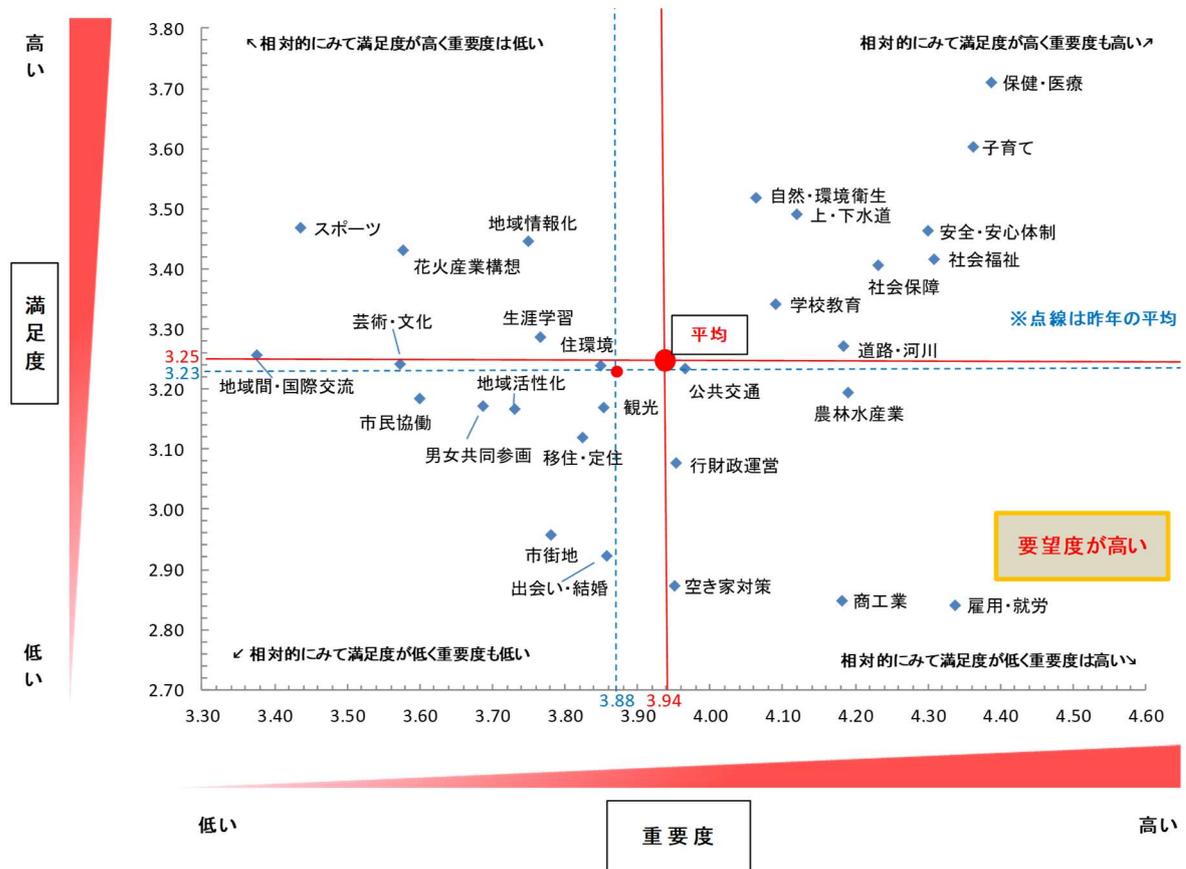
順位		項目	重要度 ※			
R4	R3			R4	R3	増減 (R4-R3)
1	1	【保健・医療】	←	4.39	4.36	0.03
2	3	【子育て】	↖	4.36	4.27	0.09
3	4	【雇用・就労】	↖	4.34	4.26	0.08
4	5	【社会福祉】	↖	4.31	4.20	0.11
5	2	【安全・安心体制】	←	4.30	4.30	0.00
6	7	【社会保障】	↖	4.23	4.14	0.09
7	9	【農林水産業】	↖	4.19	4.08	0.11
8	8	【商工業】	↖	4.18	4.10	0.08
8	6	【道路・河川】	←	4.18	4.16	0.02
10	11	【上・下水道】	↖	4.12	4.03	0.09
11	10	【学校教育】	←	4.09	4.07	0.02
12	12	【自然・環境衛生】	←	4.06	4.01	0.05
13	14	【公共交通】	←	3.96	3.91	0.05
14	15	【空き家対策】	↖	3.95	3.88	0.07
14	13	【行財政運営】	←	3.95	3.92	0.03
16	20	【出会い・結婚】	↖	3.86	3.74	0.12
17	17	【観光】	↖	3.85	3.75	0.10
17	21	【住環境】	↖	3.85	3.72	0.13
19	22	【移住・定住】	↖	3.82	3.69	0.13
20	17	【市街地】	←	3.78	3.75	0.03
21	16	【生涯学習】	←	3.77	3.77	0.00
22	17	【地域情報化】	←	3.75	3.75	0.00
23	24	【地域活性化】	↖	3.73	3.66	0.07
24	22	【男女共同参画】	←	3.69	3.69	0.00
25	27	【市民協働】	↖	3.60	3.49	0.11
26	26	【花火産業構想】	↖	3.58	3.51	0.07
27	25	【芸術・文化】	←	3.57	3.56	0.01
28	28	【スポーツ】	←	3.43	3.42	0.01
29	29	【地域間・国際交流】	↖	3.38	3.31	0.07

※矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↙ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

〈要望の度合い〉

⇒ 相対的に見て要望度が高い（「重要度」は高いが「満足度」は低い）項目は、昨年度同様、「雇用・就労」「商工業」となっている。



(2) 今後、さらに推進すべき取り組みについて

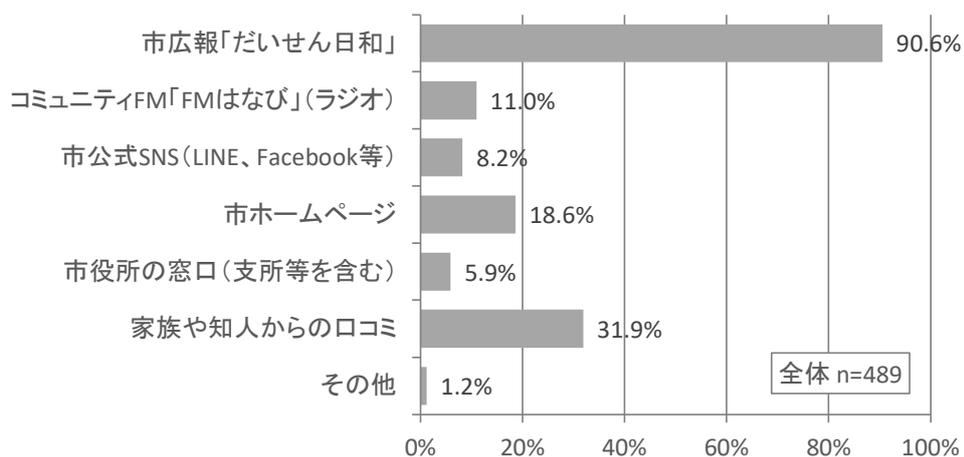
今後さらに推進すべき取組として、各分野で回答数が多い上位3項目は次のとおり。

分野	順位	取り組み内容	回答数
産業分野	1	農業の担い手確保、育成	311
	2	雇用・就労への支援	300
	3	企業誘致の強化	224
出会い・結婚・子育て分野	1	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	298
	2	子育てに関わる経済的負担の軽減	278
	3	子育て支援サービスの充実	236
健康福祉・スポーツ分野	1	地域医療体制の整備	235
	2	介護サービス基盤等の整備	224
	3	こころの健康づくりの推進	217
環境・安全分野	1	除排雪体制の充実	352
	2	空き家の管理と利活用の推進	225
	3	消融雪施設の整備	219
都市基盤分野	1	生活道路の整備	295
	2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	175
	3	道路・橋りょうの維持管理	174
教育・交流分野	1	生きる力を育む学校教育の推進	273
	2	学校と地域の交流・連携	172
	3	学校施設の整備	160
地域活性化・市民との協働・行政運営分野	1	若者が活躍できる環境づくり	289
	2	小規模集落・高齢化集落への支援	193
	3	移住・定住への支援	181
全分野	1	除排雪体制の充実	352
	2	農業の担い手確保、育成	311
	3	雇用・就労への支援	300
	4	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	298
	5	生活道路の整備	295
	6	若者が活躍できる環境づくり	289
	7	子育てに関わる経済的負担の軽減	278
	8	生きる力を育む学校教育の推進	273
	9	子育て支援サービスの充実	236
	10	地域医療体制の整備	235

(3) 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

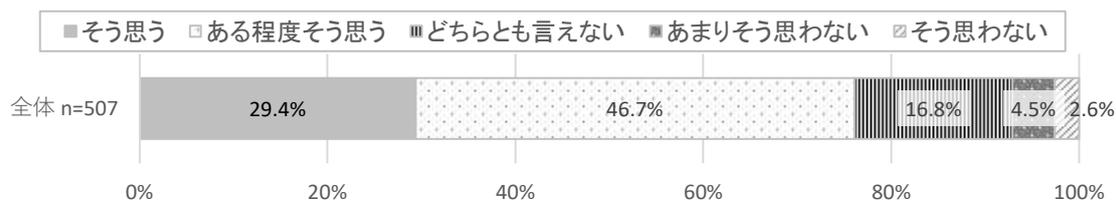
○市政に関する情報を入手するために主に利用している手段は何ですか。(2つまで)

⇒ 市広報「だいせん日和」が90.6%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」(以下、「口コミ」)が31.9%、「市ホームページ」が18.6%となっている。



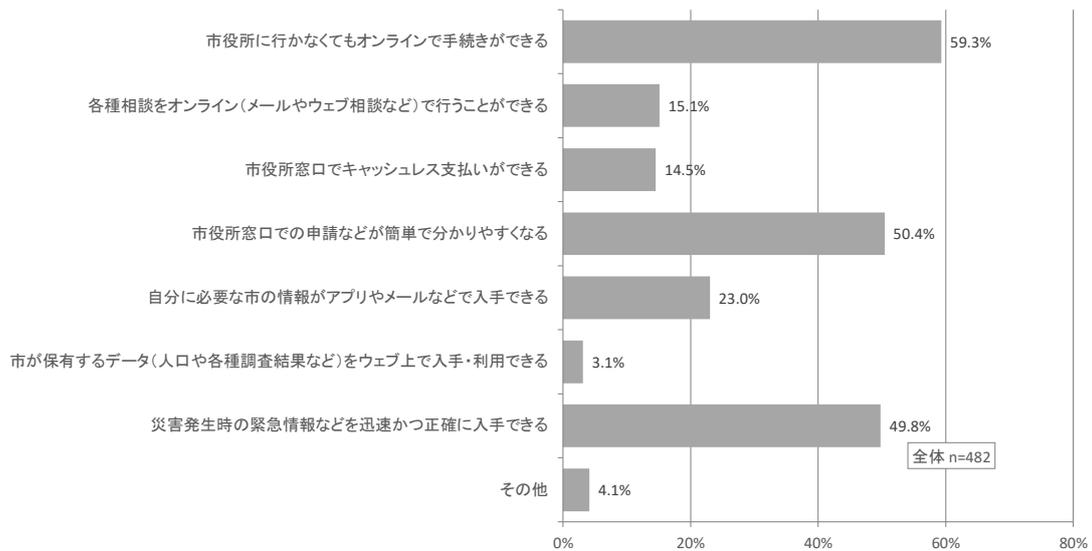
○市政に関する情報は入手しやすいですか。

⇒ そう思う(入手しやすい)が29.4%、「ある程度そう思う(ある程度入手しやすい)」が46.7%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、76.1%と8割近くになっている。



○行政サービスのデジタル化に期待することは何ですか。

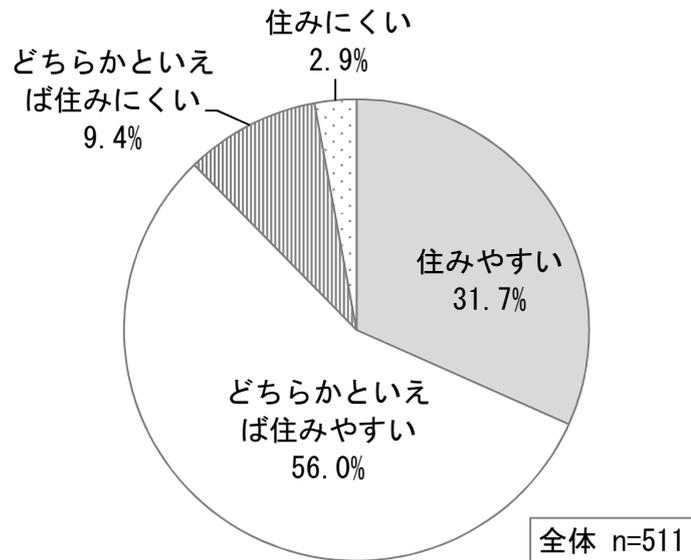
⇒ 「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」が59.3%で最も高く、次いで「(デジタル化によって)市役所窓口での申請などが簡単でわかりやすくなる」が50.4%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」が49.8%となっている。



(4) あなたが思う大仙市について

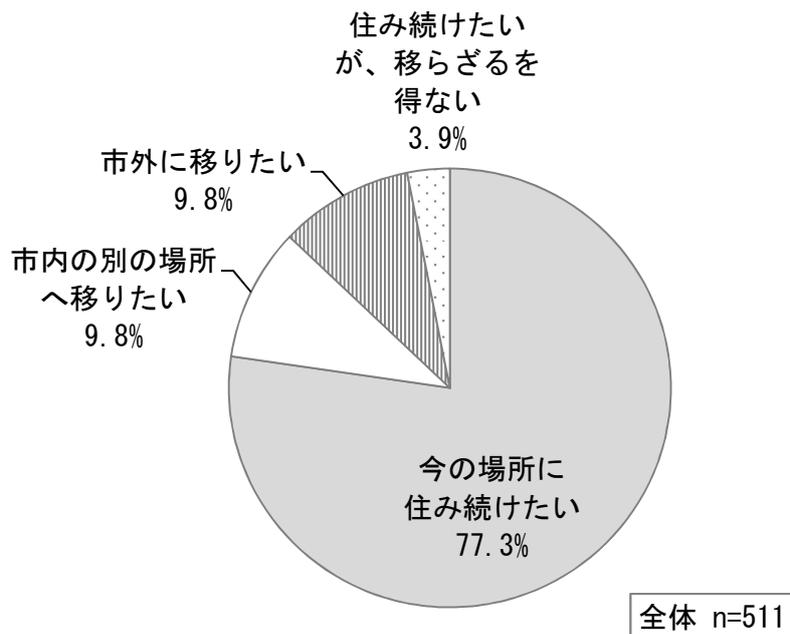
○大仙市は住みやすいか

⇒ 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の割合を合わせると、87.7%で、約9割となっている。



○大仙市に住み続けたいか

⇒ 「今の場所に住み続けたい」の割合は77.3%で、約8割となっている。



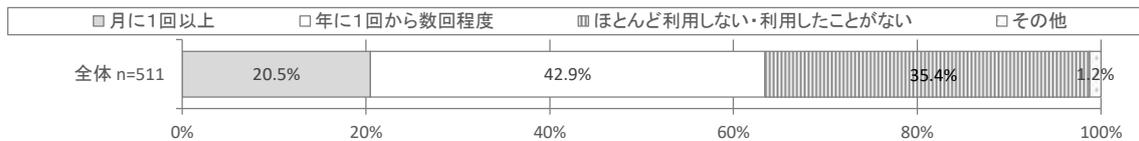
7 個別事業評価 調査結果の概要

(1) 市所有温泉施設について

調査目的：市所有温泉施設に対するご意見を伺い、今後の運営改善や将来的なあり方などを検討していくための参考とする。

○市内外を問わず温泉施設をどのくらい利用していますか。

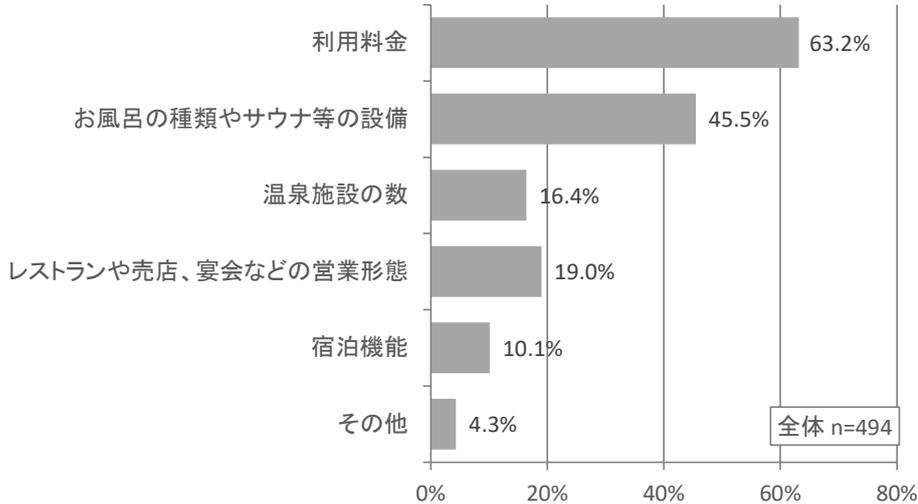
⇒ 「年に1回から年に数回程度」が最も高く42.9%、次いで「ほとんど利用しない・利用したことがない」35.4%、「月に1回以上」の利用が20.5%となっている。



○施設の統廃合、設備の縮減、利用料金や営業形態の見直し等を実施した場合でも維持してほしいことは何ですか。(2つまで)

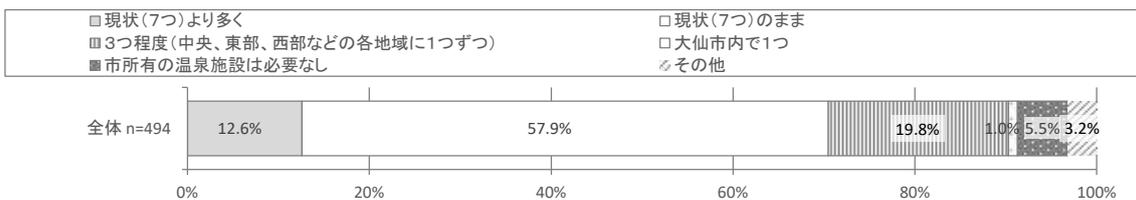
⇒ 「利用料金」が最も高く63.2%、次いで、「お風呂の種類やサウナ等の設備」が45.5%となっている。

⇒ 「宿泊機能」が最も低く、10.1%となっている。



○市所有温泉施設は大仙市内にいくつあればよいと思いますか。

⇒ 「現状のまま」が最も高く57.9%、次いで、「3つ程度」が19.8%となっている。

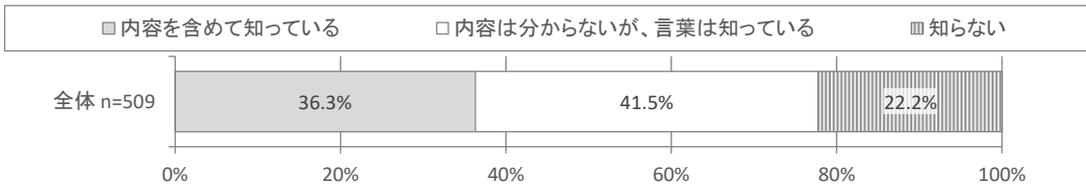


(2) SDGsについて

調査目的：市民の皆さまのSDGsの認知度や取組状況などを伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とする。

OSDGsという言葉を知っていますか。

⇒ 「内容を含めて知っている」「内容は分からないが、言葉は知っている」を合わせた割合は77.8%となっており、約8割の方がSDGsを認知している状況にある。

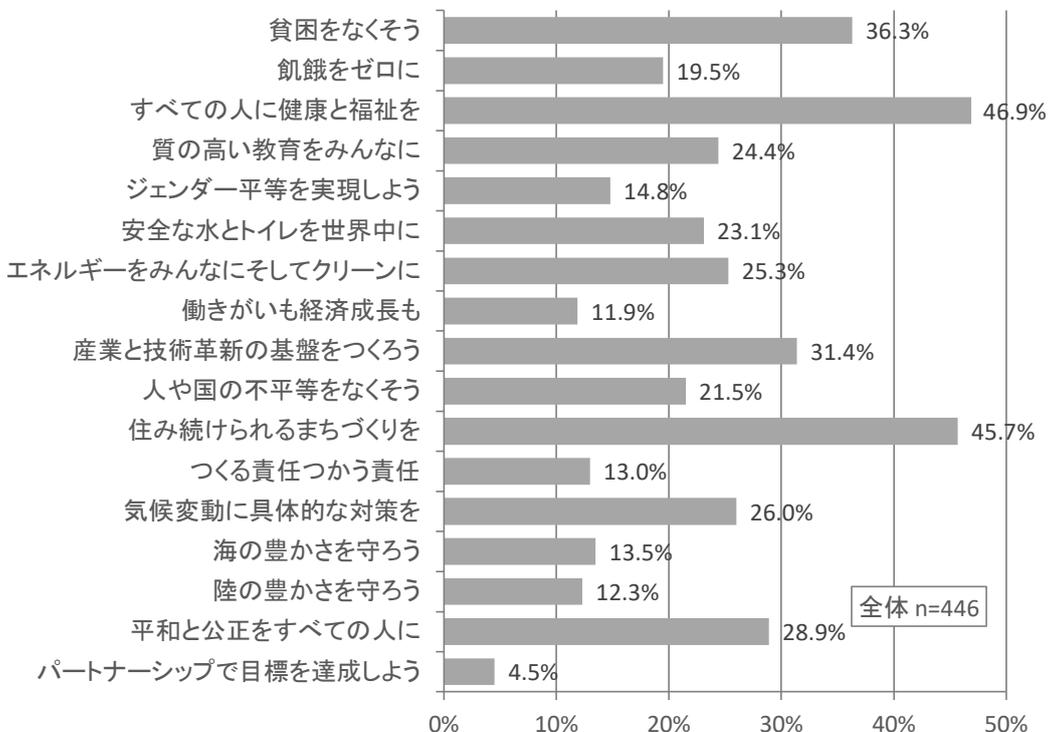


OSDGs 17 の目標のうち、関心がある目標、重要だと思う目標は何ですか。(それぞれ5つまで)

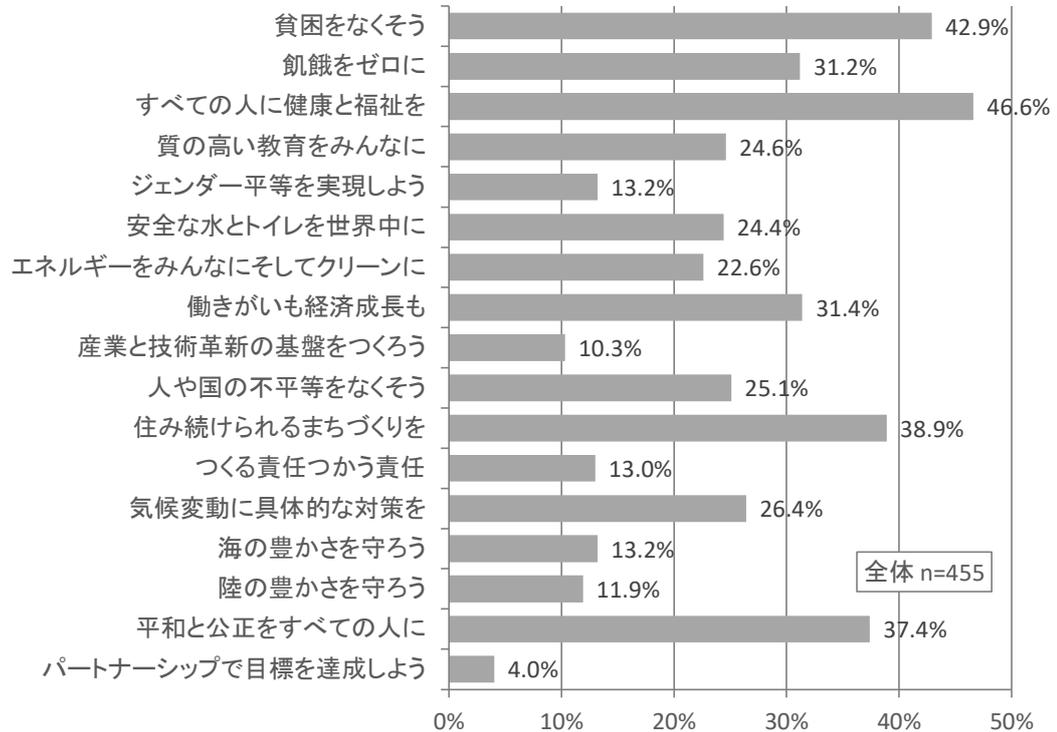
⇒ 関心がある目標は「すべての人に健康と福祉を」が46.9%、「住み続けられるまちづくりを」が45.7%で、この2項目が4割を超えている。

⇒ 重要だと思う目標は「すべての人に健康と福祉を」が46.6%、「貧困をなくそう」が42.9%で、この2項目が4割を超えている。

〈関心がある目標〉

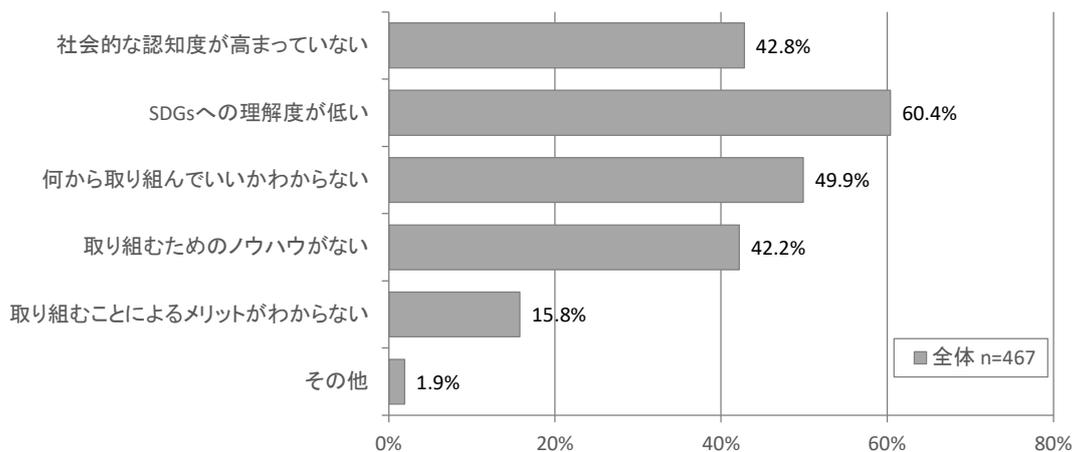


〈重要だと思う目標〉



OSDGsを推進していく上での課題は何だと思いますか。(複数回答可)

⇒ 「SDGsへの理解度が低い」が60.4%で最も高く、次いで「何から取り組んでいいかわからない」が49.9%、「社会的な認知度が高まっていない」と「取り組むためのノウハウがない」がほぼ同じ割合で約42%となっている。

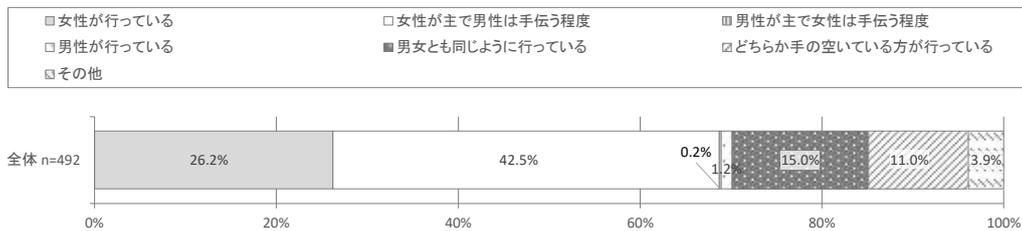


(3) 男女共同参画について

調査目的：男女共同参画に関するお考えやご意見を伺い、今後、さらに男女共同参画を推進していくための参考とする。

○あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますか。

- ⇒ 「女性が主で男性は手伝う程度」が42.5%で最も高く、次いで、「女性が行っている」が26.2%で、約7割が主に女性が行っていると回答している。
- ⇒ 「男女とも同じように行っている」が15.0%、「どちらか手の空いているほうが行っている」が11.0%となっており、性別に関わらず家事等を分担して行っている家庭は約3割となっている。



○男女共同参画社会を実現するために、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(3つまで)

- ⇒ 最も高くなっているのは、「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が43.4%で突出している。
- ⇒ 上記を含め、20%を超えている項目は、すべて子育てや介護と仕事の両立に関わる項目となっている。

